

さくらインターネット株式会社 (3778) 2016年3月期 第1四半期 決算説明会

代表取締役社長 田中邦裕

2015年7月27日



決算概況

決算ハイライト

業績

増収増益

- 売上高 **2,931**百万円（前年同期比 **15.1%** 増※）↑
- 経常利益 **253**百万円（前年同期比 **32.3%** 増※）↑
- 親会社株主に帰属する
四半期純利益 **170**百万円（前年同期比 **41.9%** 増※）↑

事業

VPS・クラウドサービスが前年同期比 **44.3%**※ 増 ↑

連結

Joe'sクラウドコンピューティングの子会社化により
当第1四半期より連結決算を開始

※ 2016年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しております。
参考のため、前年同期比は単体決算との比較を記載しております。

2. 損益計算書（前年同期比）

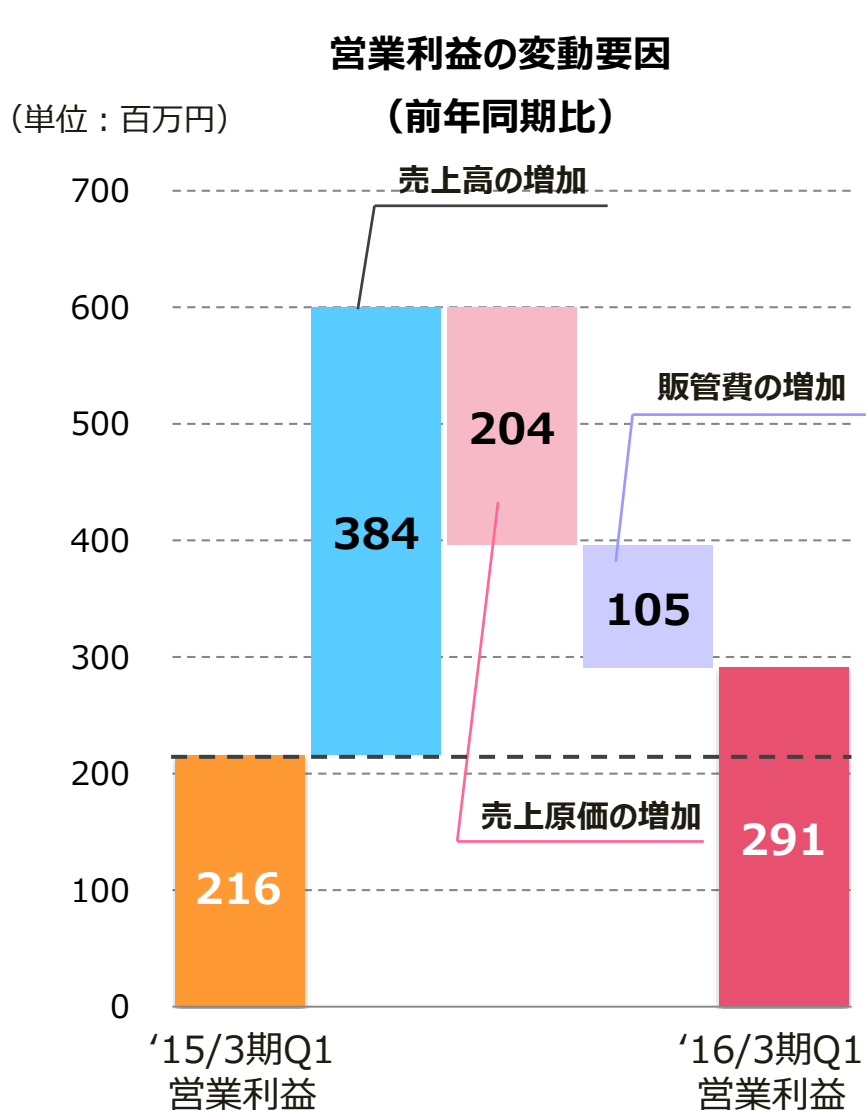
- ① VPS・クラウドサービスが順調に成長
- ② エンジニアの増員・顧客サポートの強化、販売用機材の増加等（一時的）
- ③ 売上高増加、設備・機材等の運用効率化

（金額：百万円）

科目名	'15/3期 Q1【単体】		'16/3期 Q1【連結】		前年同期比		
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	増減額	増減率 (%)	
売上高	2,546	100.0	2,931	100.0	384	15.1	①
売上原価	1,888	74.1	2,092	71.4	204	10.8	②
売上総利益	658	25.9	839	28.6	180	27.4	
販管費	442	17.4	547	18.7	105	23.8	
営業利益	216	8.5	291	9.9	75	34.8	③
経常利益	191	7.5	253	8.6	61	32.3	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	120	4.7	170	5.8	50	41.9	

※ 2016年3月期第1四半期より連結決算を開始しております。前年同期比は、単体決算との比較となっております。

2. 損益計算書（前年同期比）



(単位：百万円)

主な要因	金額
売上高の増加	384
売上原価の増加	204
エンジニアの増員等	66
販売用機材の増加等（一時的）	64
ドメイン調達コスト・回線費用の増加	27
保守コスト等修繕費の増加	21
その他売上原価の増加	26
販管費の増加	105
減価償却費（社内システム）の増加	30
人員、採用、教育費用の増加	21
営業施策の増加	15
のれん償却費	6
その他販管費の増加	33

- ① 納税等による現金及び預金の減少
- ② 石狩データセンター増床による有形リース資産の増加
- ③ 未払消費税・未払法人税等の減少
- ④ 石狩データセンター増床による長期リース債務の増加

(金額：百万円)

科目名	前期末 (‘15/3期) 【単体】	当期Q1末 (‘16/3期) 【連結】	増減額	科目名	前期末 (‘15/3期) 【単体】	当期Q1末 (‘16/3期) 【連結】	増減額
流動資産	4,682	4,496	①▲185	流動負債	5,629	5,446	③▲182
固定資産	9,414	9,912	497	固定負債	4,510	4,921	④ 411
(有形固定資産)	7,984	8,374	② 389	負債合計	10,140	10,368	228
(無形固定資産)	872	937	65	純資産	3,957	4,040	83
(投資その他資産)	557	600	42	(株主資本)	3,957	4,040	83
資産合計	14,097	14,409	311	負債純資産合計	14,097	14,409	311

※ 2016年3月期第1四半期より連結決算を開始しております。上記の前期末は単体決算数値を、当期Q1末は連結決算数値を記しており、増減額は単体決算との比較となっております。

4. キャッシュ・フロー計算書（前四半期比）

- ① 税引前四半期純利益、減価償却費計上の一方、消費税、法人税等を納付
- ② 借入金の返済、リース債務の支払い等

(金額：百万円)

項目	'15/3期【単体】				'16/3期 【連結】 Q1会計	前四半期比 増減額
	Q1会計	Q2会計	Q3会計	Q4会計		
営業CF	828	686	597	799	206	①▲592
投資CF	▲177	▲146	▲177	▲39	▲172	▲133
営業CF－投資CF	650	539	419	760	33	▲726
財務CF	▲401	▲323	▲273	▲319	▲239	② 79
現金等の増加額	248	216	146	440	▲206	▲646
現金等の残高	2,335	2,552	2,698	3,139	2,933	

※ 2016年3月期第1四半期より連結決算を開始しております。前四半期比は、単体決算との比較となっております。



業績関連データ

1. 損益計算書（前四半期比）

- ① VPS・クラウドサービスの成長、Joe's社の連結開始等
- ② 売上高増加、設備・機材等の運用効率化

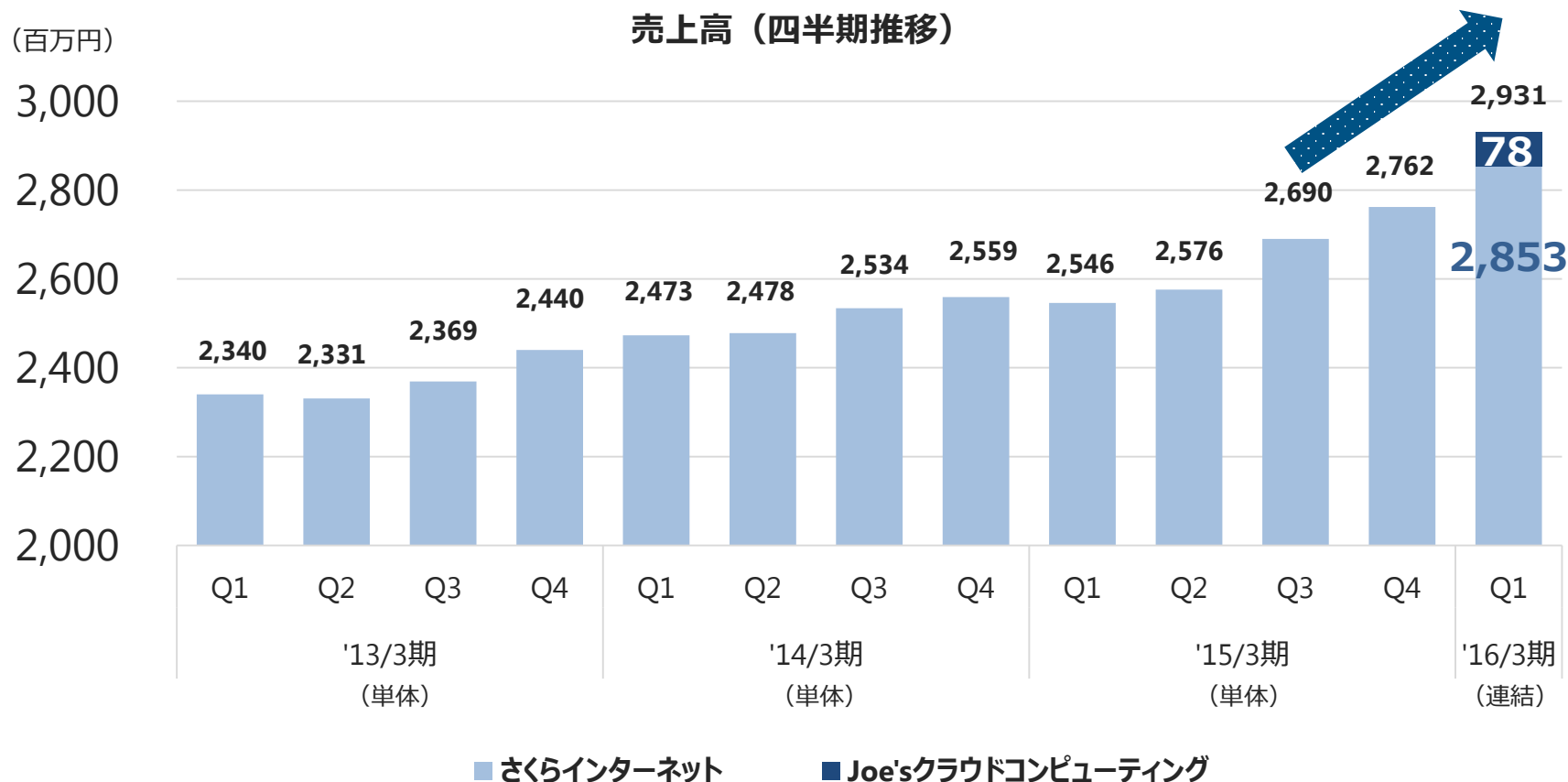
（金額：百万円）

科目名	'15/3期【単体】				'16/3期【連結】 Q1会計	前四半期比	
	Q1会計	Q2会計	Q3会計	Q4会計		増減額	増減率 (%)
売上高	2,546	2,576	2,690	2,762	2,931	169	6.1
売上総利益	658	670	746	775	839	63	8.1
構成比 (%)	25.9	26.0	27.8	28.1	28.6		
営業利益	216	219	268	260	291	30	11.7
構成比 (%)	8.5	8.5	10.0	9.4	9.9		
経常利益	191	188	247	230	253	22	10.0
構成比 (%)	7.5	7.3	9.2	8.3	8.6		
親会社株主に帰属する 四半期純利益	120	117	157	121	170	48	40.2
構成比 (%)	4.7	4.6	5.8	4.4	5.8		
EBITDA ※	649	641	684	680	679	▲0	▲0.1

※ 2016年3月期第1四半期より連結決算を開始しております。前四半期比は、単体決算との比較となっております。

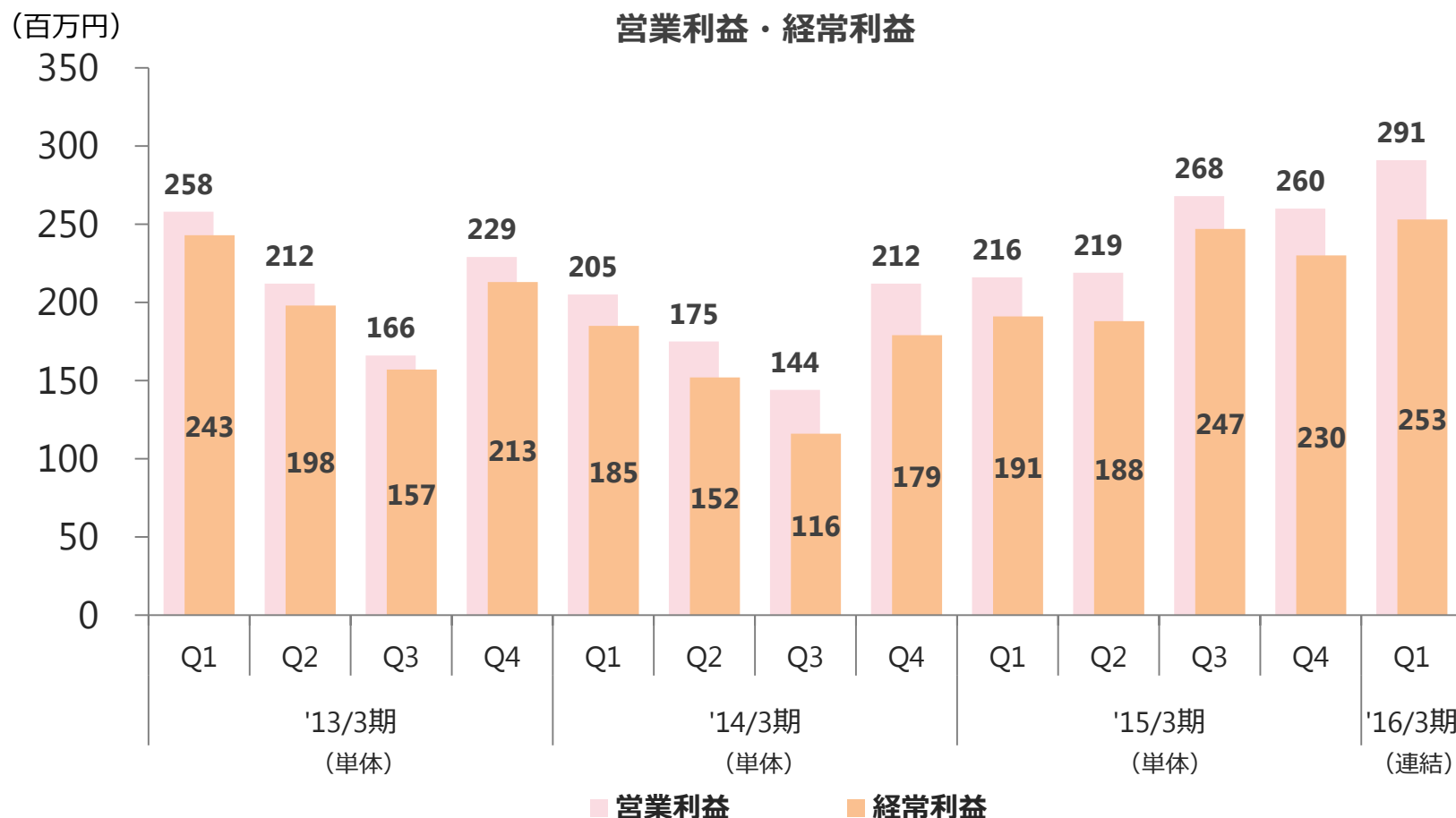
※ EBITDA = 経常利益 + 支払利息 + 減価償却費

営業施策の強化が奏功し、前期Q3から売上高の伸びを継続



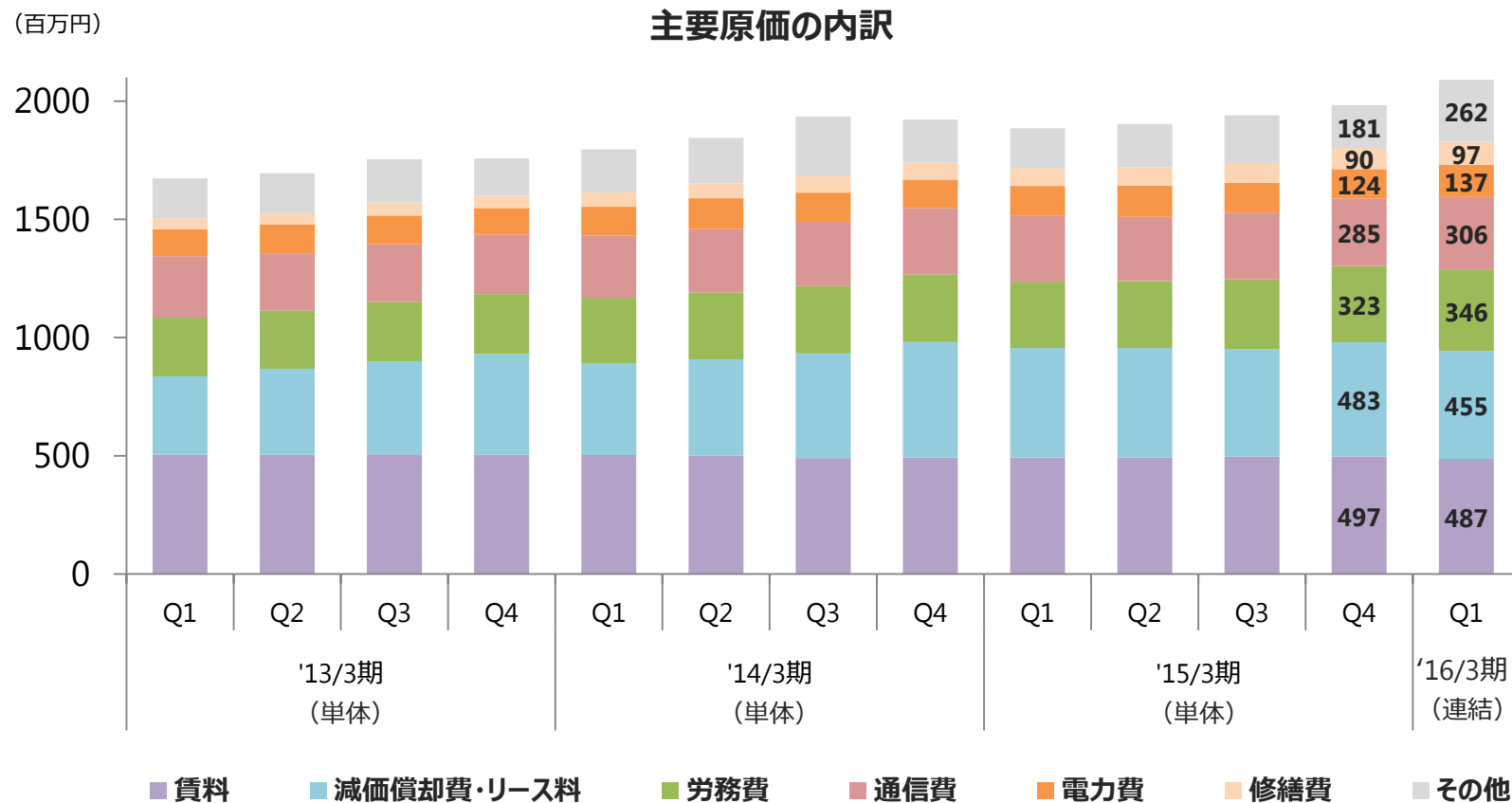
※ 2015年3月期以前は単体決算数値を、2016年3月期第1四半期より連結決算数値を記載しております。

売上増加に伴い、堅調に利益を創出



※ 2015年3月期以前は単体決算数値を、2016年3月期第1四半期より連結決算数値を記載しております。

データセンター設備にかかる賃借料、減価償却費・リース料は前Q比で減少。
 労務費や通信費は人材増加や連結子会社化で増加



※ 2015年3月期以前は単体決算数値を、2016年3月期第1四半期より連結決算数値を記載しております。

5. サービス別売上高（前四半期比）

- ① 連結子会社の売上が貢献
- ② VPS・クラウドサービスが引き続き成長
- ③ スポットでの機材販売

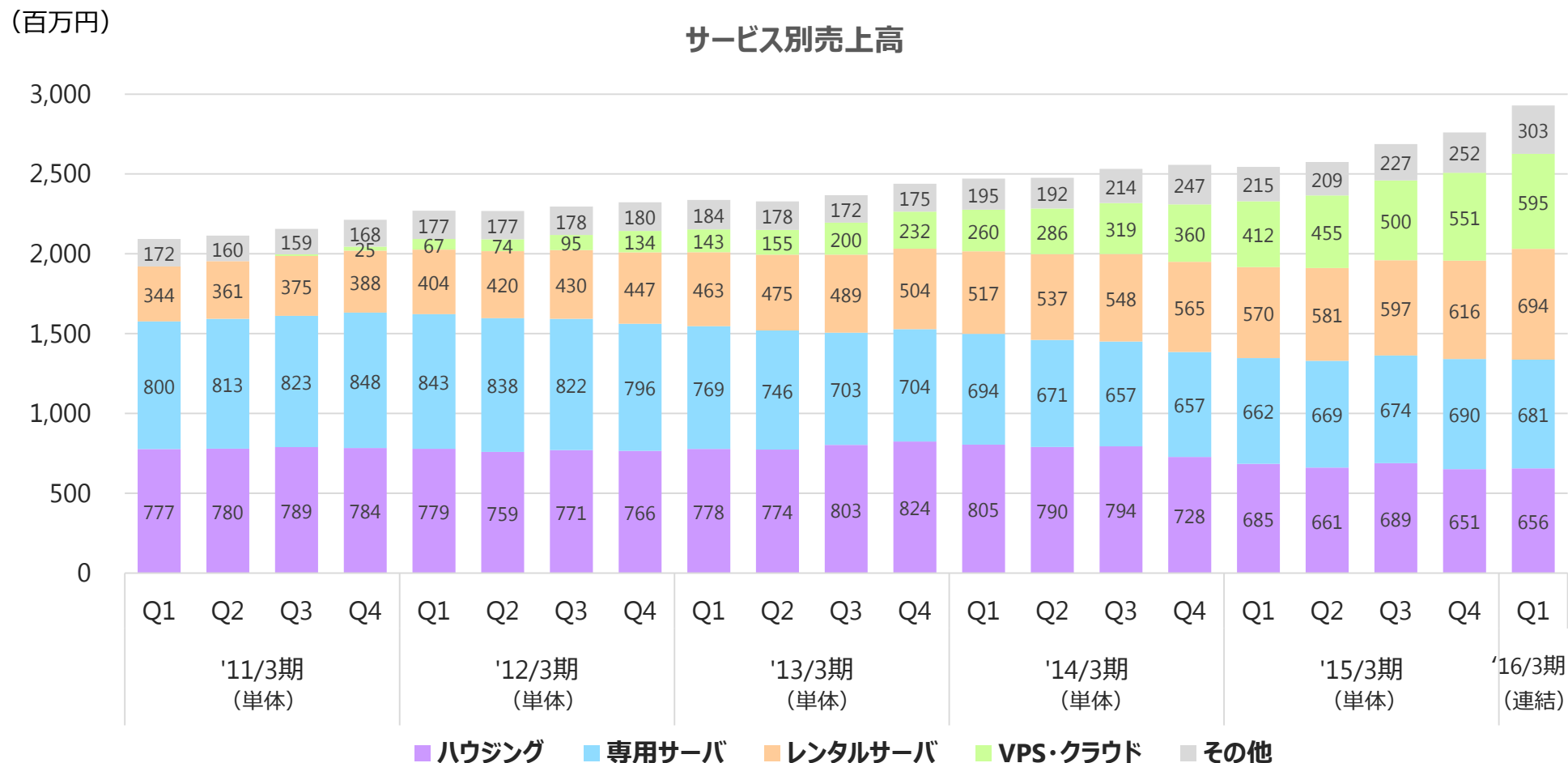
（金額：百万円）

サービス名	'15/3期【単体】				'16/3期【連結】 Q1会計	前四半期比	
	Q1会計	Q2会計	Q3会計	Q4会計		増減額	増減率 (%)
ハウジング	685	661	689	651	656	5	0.9
構成比 (%)	26.9	25.7	25.6	23.6	22.4		
専用サーバ	662	669	674	690	681	▲9	▲1.3
構成比 (%)	26.0	26.0	25.1	25.0	23.3		
レンタルサーバ	570	581	597	616	694	77	12.6
構成比 (%)	22.4	22.6	22.2	22.3	23.7		
VPS・クラウド	412	455	500	551	595	43	8.0
構成比 (%)	16.2	17.7	18.6	20.0	20.3		
その他	215	209	227	252	303	50	20.1
構成比 (%)	8.5	8.1	8.5	9.1	10.4		

※ 2016年3月期第1四半期より連結決算を開始しております。前四半期比は、単体決算との比較となっております。

6. サービス別売上高（四半期推移）

VPS・クラウドサービスが順調に増加

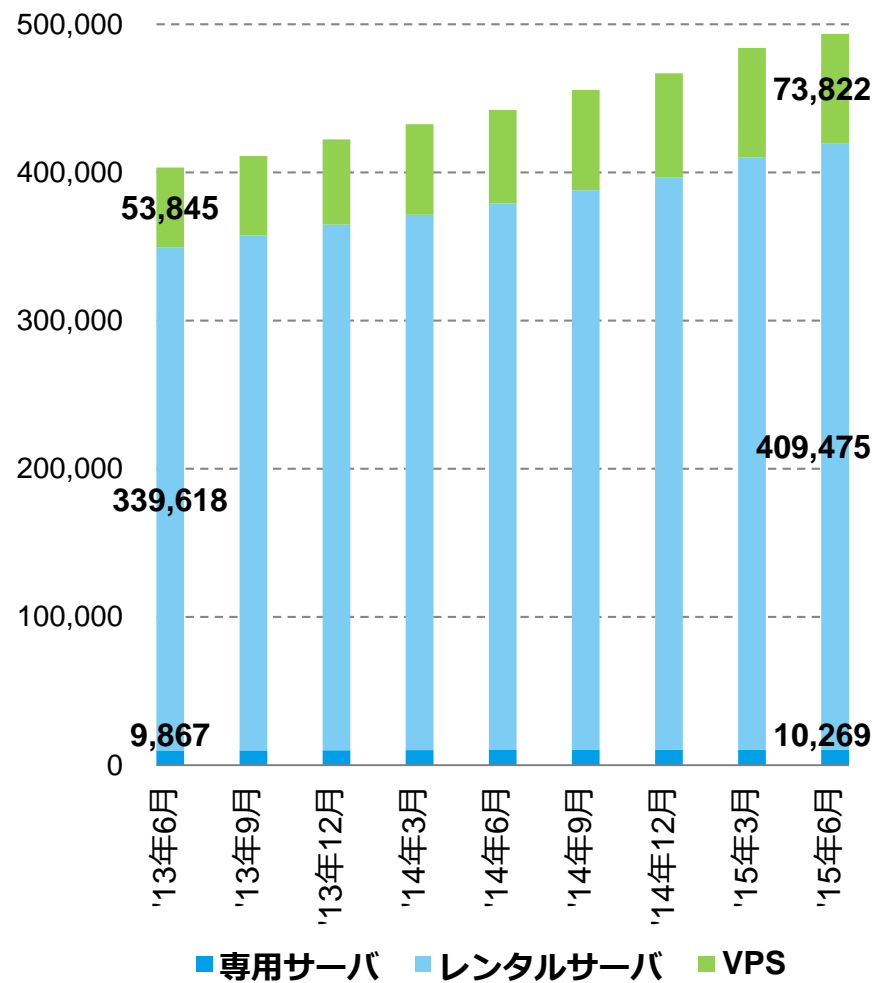


※ 2015年3月期以前は単体決算数値を、2016年3月期第1四半期より連結決算数値を記載しております。

7. ホスティングサービス 利用動向

(単位：件数)

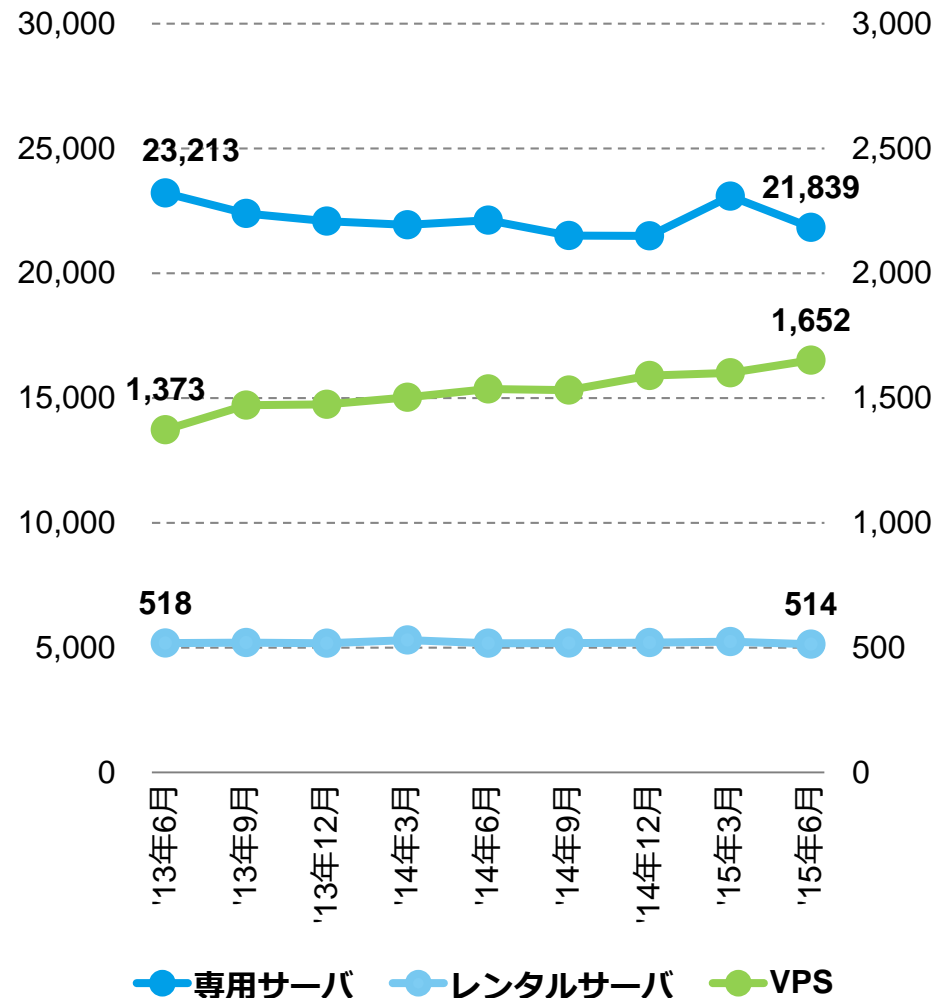
利用中件数



(単位：円)

平均単価

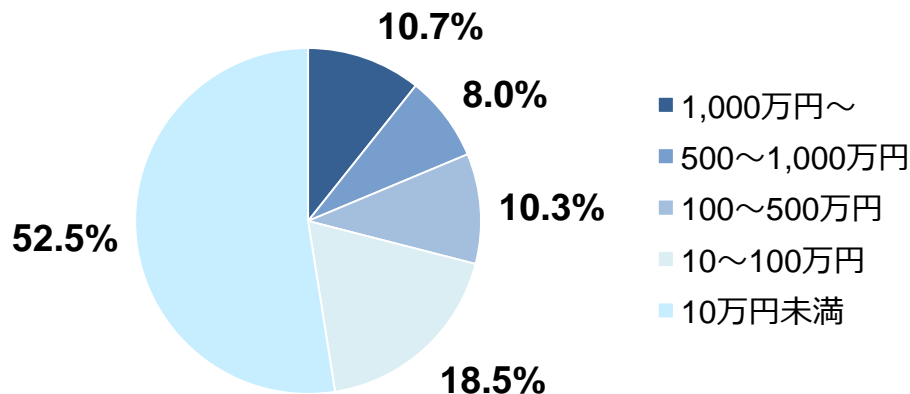
(単位：円)



※さくらインターネット単体のみを対象に集計しております。

小口顧客の売上構成比が高く、特定の業種に依存しない顧客構成

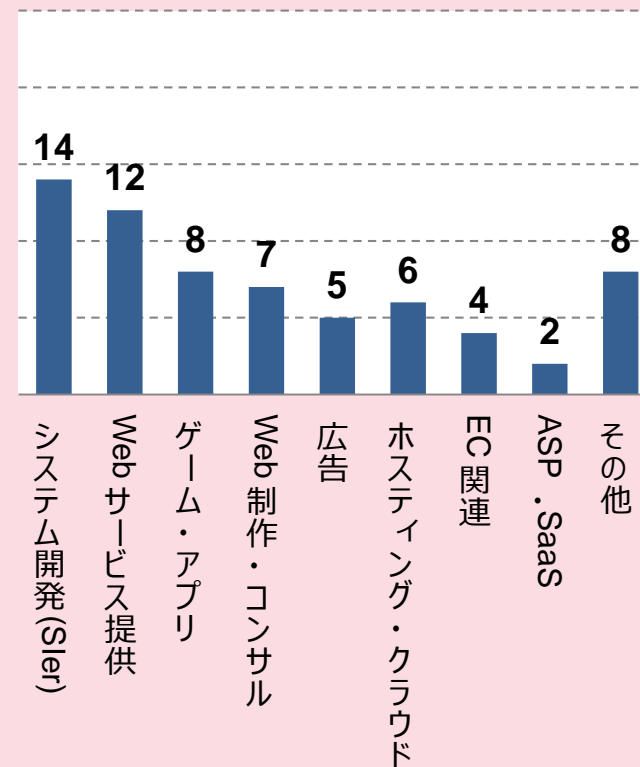
月額料金別データ
(売上構成比)



月額料金	事業者数			
	'14年9月	'14年12月	'15年3月	'15年6月
1,000万円～	4	5	5	6
500～1,000万円	7	9	8	11
100～500万円	63	51	65	49

※さくらインターネット単体のみを対象に集計しております。

業種別
月額料金100万円以上の顧客数



当社の事業展開について

昨年度までの中期経営計画3ヶ年を終え、
あらためて当社の事業展開・アクションについてご説明

当社のこれまで

**データセンターのインフラサービス
という狭い事業領域に19年間集中**

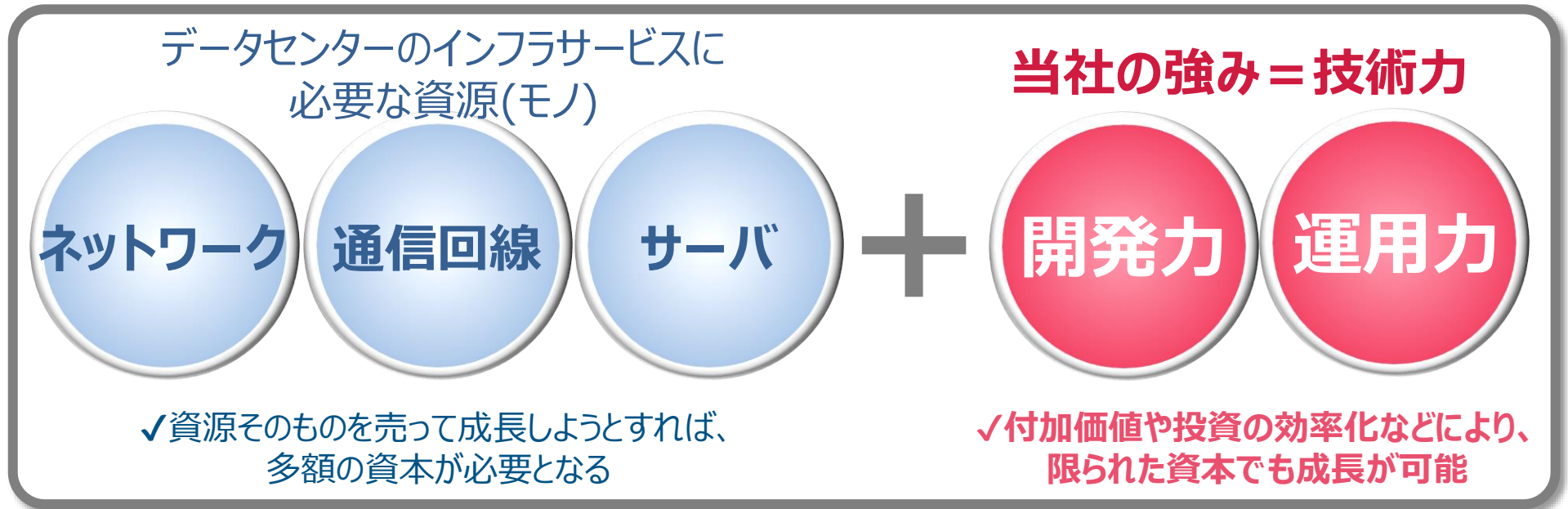
**当社の強みである技術力と
スケールメリット(データセンターサービスの特徴)を
活かし、コストパフォーマンスを追求**

絞り込んだ領域へ資源を集中投下し、きめ細かく対応

競争戦略	大規模プレイヤー	中・小規模プレイヤー	さくらインターネットの現状
サービス戦略	総合主義	一点集中主義 (絞りこみ、徹底する)	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラサービスのみ集中 ・絞り込んだ事業に集中投資 (石狩データセンター)
地域戦略	広域戦	局地戦 (領域を限定して 資源を分散させない)	海外を見据えつつも 国内に資源を集中投下
流通・顧客戦略	遠隔戦・確率戦	接近戦・一騎打ち戦 (顧客に近づく)	<ul style="list-style-type: none"> ・ターゲット層はIT系、 中小企業が中心 ・イベントなどを通じた顧客 とのリレーションシップを重視

当社は現在も、データセンターのインフラサービスのみで売上高を伸ばし続けている

資源をそのまま提供するのではなく、当社の技術力を活用し、
変化するニーズに対して様々なサービスとして提供



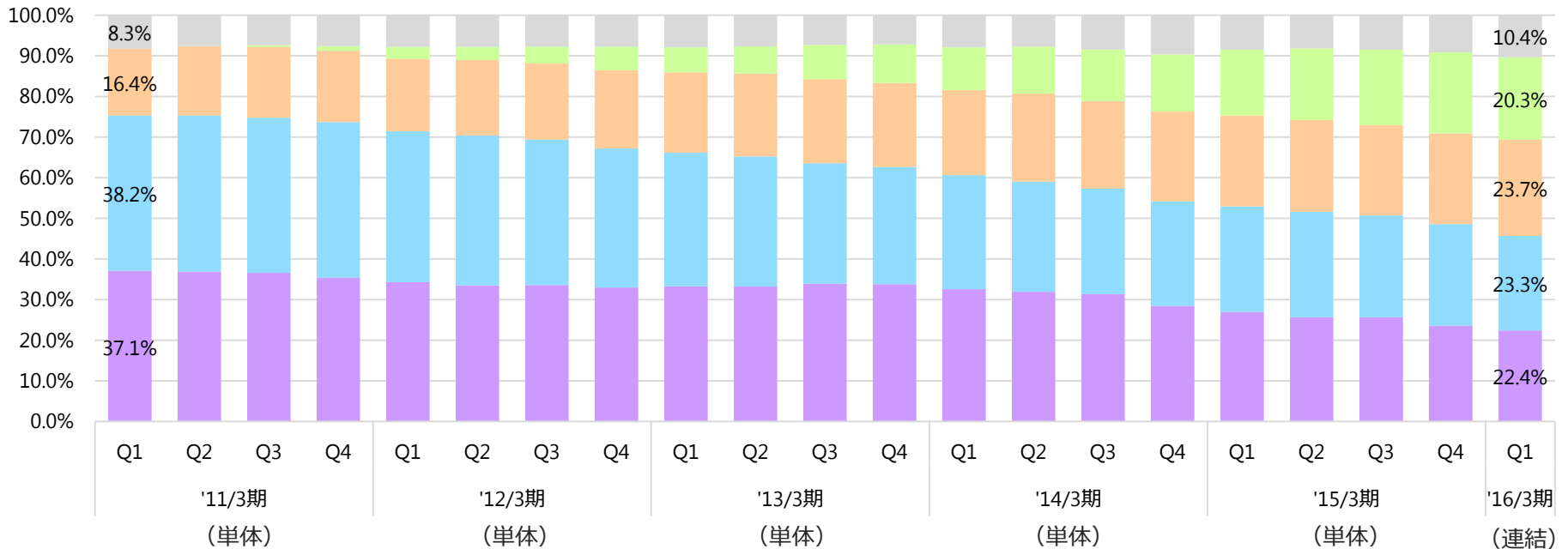
様々なサービスとして提供

専用サーバ レンタルサーバ クラウド VPS など...

顧客ニーズの変化に対応し、サービスの売上構成も変化

サービス別売上比率（四半期推移）

■ハウジング ■専用サーバ ■レンタルサーバ ■VPS・クラウド ■その他



ハウジング・コロケーション中心から、クラウド・ホスティング中心へ



開発力だけでなく、テクノロジーや運用力によりコストをコントロール

さくらインターネットの技術力

- ① 顧客の求めるサービスを提供するための開発力
- ② テクノロジーと運用効率化によるコストコントロール

テクノロジーによるコストコントロールの事例

オープンソースを活用した 自社開発	オンライン申込みから サービス提供までを自動化	回線調達コストの上昇抑制
<p>先行投資負担はあるものの、一定の販売量を超えれば、回収性は高い</p>	<p>運用管理にかかる人的コストの上昇を抑制</p>	<p>ネットワーク基盤への新技術の導入により、回線コスト調達単価の上昇を抑制 (※P.24にて説明)</p>

◎ ただし、上記のようなコストコントロール効果を発揮するためには、スケールメリットという要素が必要

技術力は、スケールメリットにより効果を発揮し、
顧客にはコストパフォーマンスという価値を提供

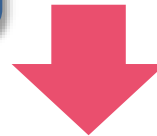
技術力（開発力＋運用力）

- ✓ テクノロジーと運用効率化によるコスト低減
- ✓ 顧客の新しい満足を生み出すサービス開発



スケールメリット

- ✓ 規模の拡大によるコスト低減
- ✓ 技術イノベーションに見合うスケール



コストパフォーマンス

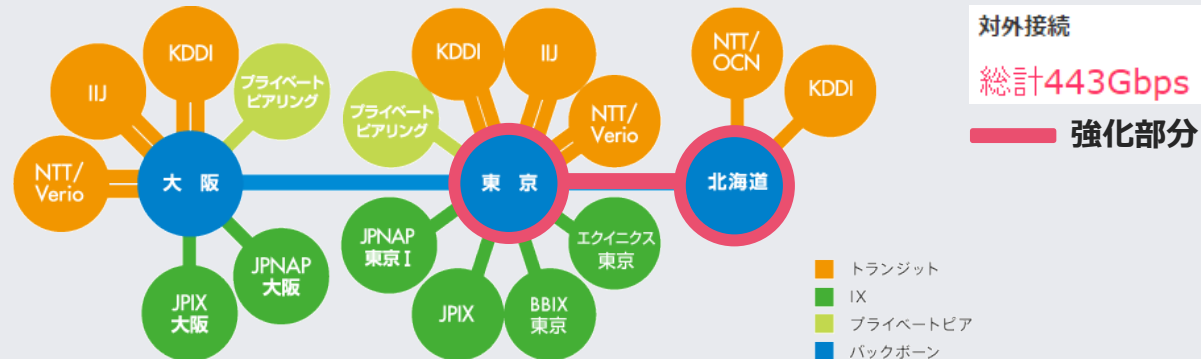
直近では、スケールメリットとネットワーク基盤の技術を活用し、
将来増加が見込まれる回線コストの調達単価上昇を抑制

技術力 × スケールメリット によるコスト低減の一例

トラフィック増加対策として新たにネットワーク基盤を構築し、
10G⇒ 100G化を実現。

これにより今後の回線調達単価が下がり、
回線速度は10倍になるがコストは3倍程度に抑えることが可能に

100GbEフルルート環境を構築※
(※2015年7月1日リリース)



バックボーンネットワークマップ

技術力をベースに新規サービスを次々と提供し、 既存サービスの継続的な強化を実施

ニーズの高まる商材の提供、主力サービスの継続的強化

■ セキュリティ需要の高まりに対応した商材の提供・機能強化

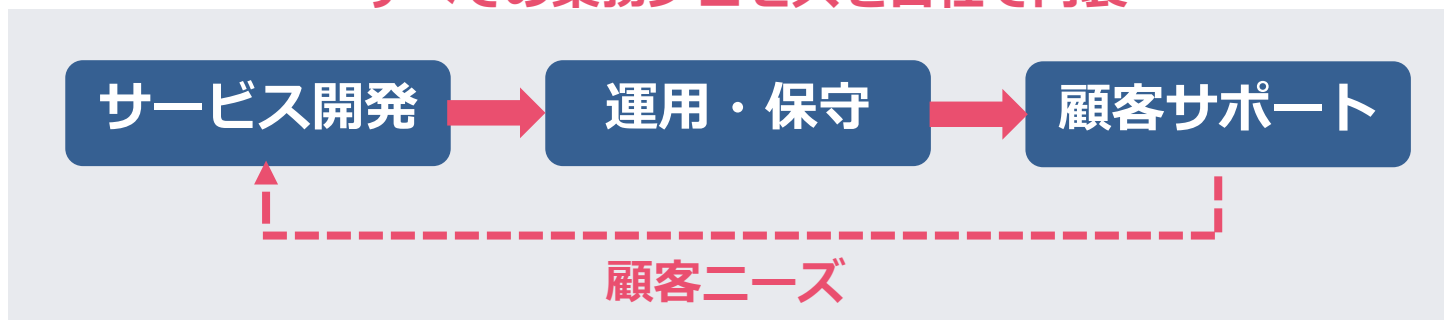
- ✓ さくらのクラウド：2段階認証機能追加
- ✓ Web改ざん検知サービスの提供開始
- ✓ SSL（※）サーバ証明書：SureServer for SAKURAの好調

■ ホスティング・クラウドサービスの継続的強化

- ✓ さくらのクラウド：東京リージョン「ハイブリッド接続サービス」対応開始
- ✓ さくらのレンタルサーバ：急激なアクセス増加に対応する「リソースブースト」機能をリリース
- ✓ さくらの専用サーバ：サービスメニュー改定

技術力は様々な業務プロセスにおいて開発力や運用力として発揮。
これを支えるのが自前主義と一貫通貫の社内体制

すべての業務プロセスを自社で内製



✓ **スピードアップ**

短期間で新サービスを投入できる

✓ **コストコントロール**

ノウハウ蓄積によるコスト低減などでコストコントロールを可能とする

✓ **柔軟な対応力**

企画開発から運用まで自前のため、時代で変わる様々な顧客ニーズに対応することが可能

顧客ニーズにあわせて短期間で新サービスを投入できる一貫通貫の社内体制

企画開発から運用までを一気通貫で自社で行うためには 技術力を支える人材の確保、強化が課題

採用人数の増加

前期末より
42名増

	'15/3期 Q4 (単体)	'16/3期 Q1 (連結)
従業員数 (※1)	266	308

'16/3期 Q1 増減内訳	増減 (人)
エンジニア	+ 26
営業・販促	+ 2
管理	+ 4
Joe's社	+ 10
計	+ 42

※1 従業員数は当社から他社への出向者を除き、他社から当社への出向者を含む就業人員となります。

採用活動の強化

- ✓ 採用イベント参加で優秀人材の発掘を強化
- ✓ 高専ツアーの実施を企画中
- ✓ 未来の優秀なIT人材へのアプローチ手段の一つとして「未踏」の法人会員となり、各種イベント・セミナーに協賛



▲第21回未踏IT人材発掘・育成事業
修了式兼スーパークリエイター認定証授与式

資源の集中投資によりスケールメリットの発揮できる規模を実現し、さらなる規模拡大のために営業強化策を実施

資源の集中投資

石狩データセンターへの投資の状況



Total 約 95 億円
(有形固定資産の取得額)

営業強化施策

- **パートナーシップの強化**
 - ✓ パートナー企業数は順調に増加
 - ✓ 月額売上数百万円規模のパートナーも
- **営業セミナー・イベント強化**
 - ✓ 対面だけでなくオンラインセミナーを積極活用することで顧客との接触機会を増大
 - ✓ ユーザーコミュニティ「さくらクラブ」の発足支援
既存顧客とのリレーションシップ強化
- **スタートアップ支援**
 - ✓ クラウドで大口の課金開始
 - ✓ スタートアップ企業の件数が順調に増加

不正アクセスや情報漏洩など、企業を取り巻く脅威に対して 自社で様々なセキュリティ対策を強化

社内組織における取組み

日本シーサート（CSIRT）協議会へ加盟

加盟各社と情報共有を行うことにより、増加する脆弱性対応およびサイバー攻撃への対応をより効率的・効果的に実施することを目的に協議会へ加盟。

当社ユーザーに対する取組み

アビュース(不正使用・迷惑行為)対策の強化

・不正アクセス対応の強化

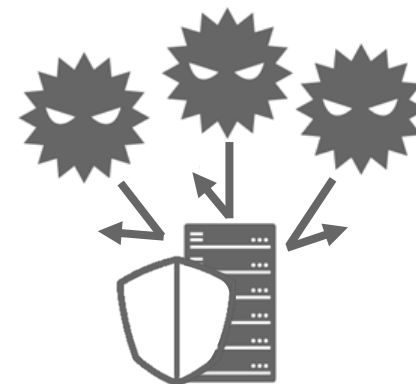
外部からの通報を受ける前に、社内で不正アクセスの検知・対応。

・ブロックリスト事業者への対応強化

スパム判定された対象の利用者へ速やかに連絡し、状況確認と対応要請。
6月には当社保有の管理IPのリスト登録数が0件に。

DoSアタック対策

サービスを提供不能な状態にするDoS攻撃に対し、リアルタイムの検出システムを導入。
迅速な対応が可能に。





参考資料

インターネットインフラの提供を事業ドメインとして、 大阪、東京、北海道の3都市に5つのデータセンターを展開

1996 ● さくらインターネット創業

1996年12月に現社長の田中邦裕が、舞鶴高専在学中に学内ベンチャーとして創業。

1999 ● ・株式会社を設立 ・最初のデータセンター開設

1999年8月に株式会社を設立。10月には、第1号となるデータセンターを本町に開設。

2005 ● 東証マザーズ上場

2005年10月に東京証券取引所マザーズ市場に上場。

2011 ● 石狩データセンター開設

2011年11月、北海道石狩市に国内最大級の郊外型大規模データセンターを開設。

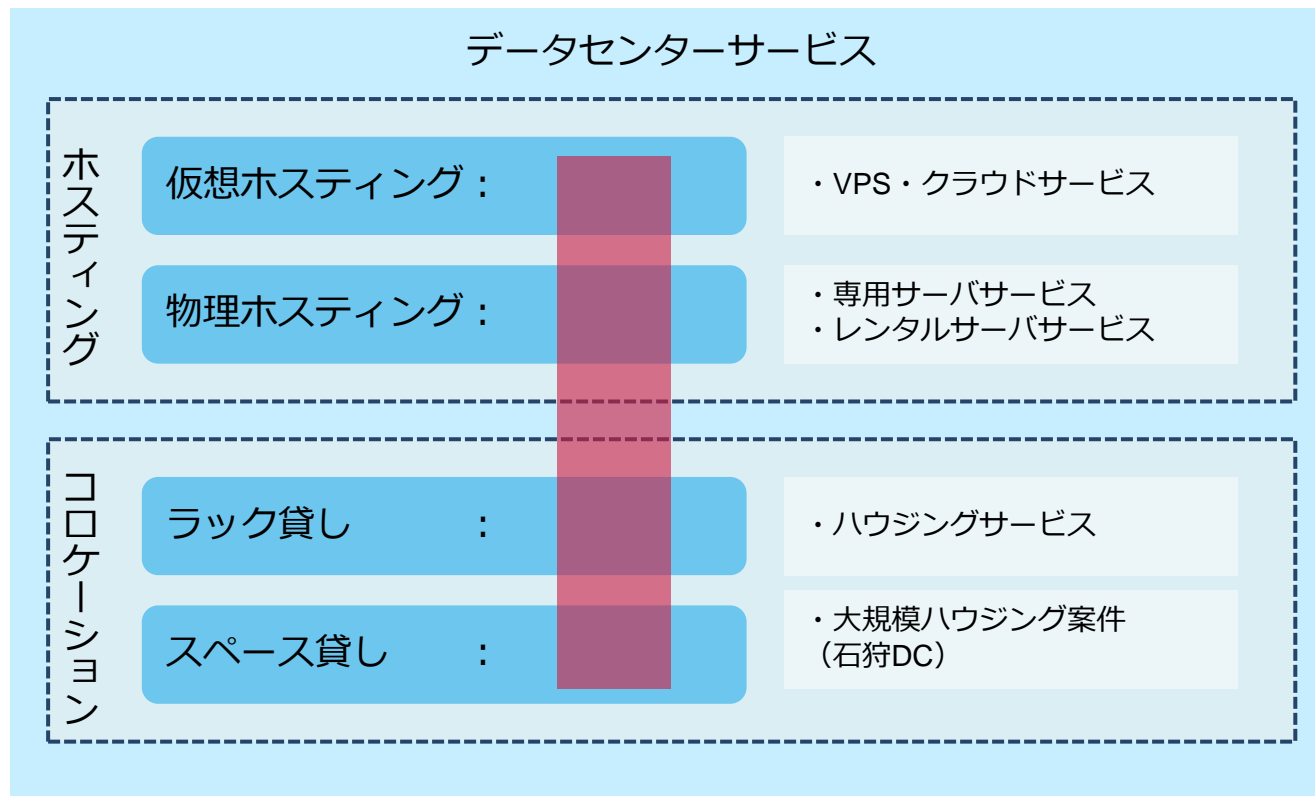


会社概要

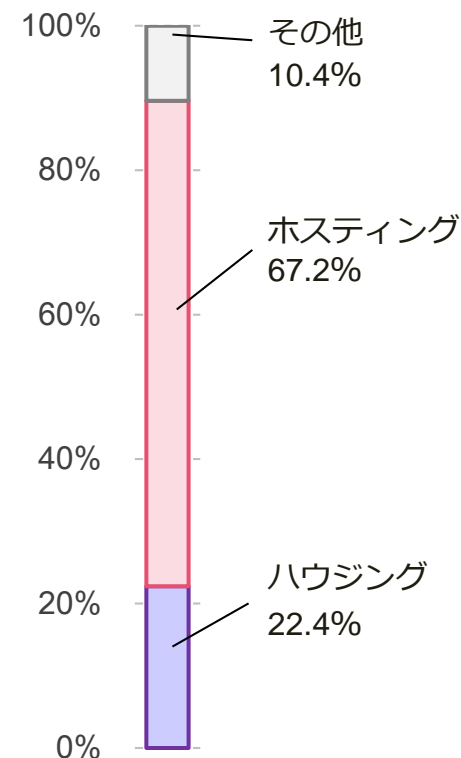
商 号	さくらインターネット株式会社
本 社 所 在 地	大阪府中央区南本町一丁目8番14号
設 立 年 月 日	1999年8月17日 (サービス開始は1996年12月23日)
上 場 年 月 日	2005年10月12日 (東証マザーズ)
資 本 金	8億9,530万円
従 業 員 数	308名 (連結)

(※2015年6月末日現在)

ハウジングからホスティングまで幅広いサービスを提供

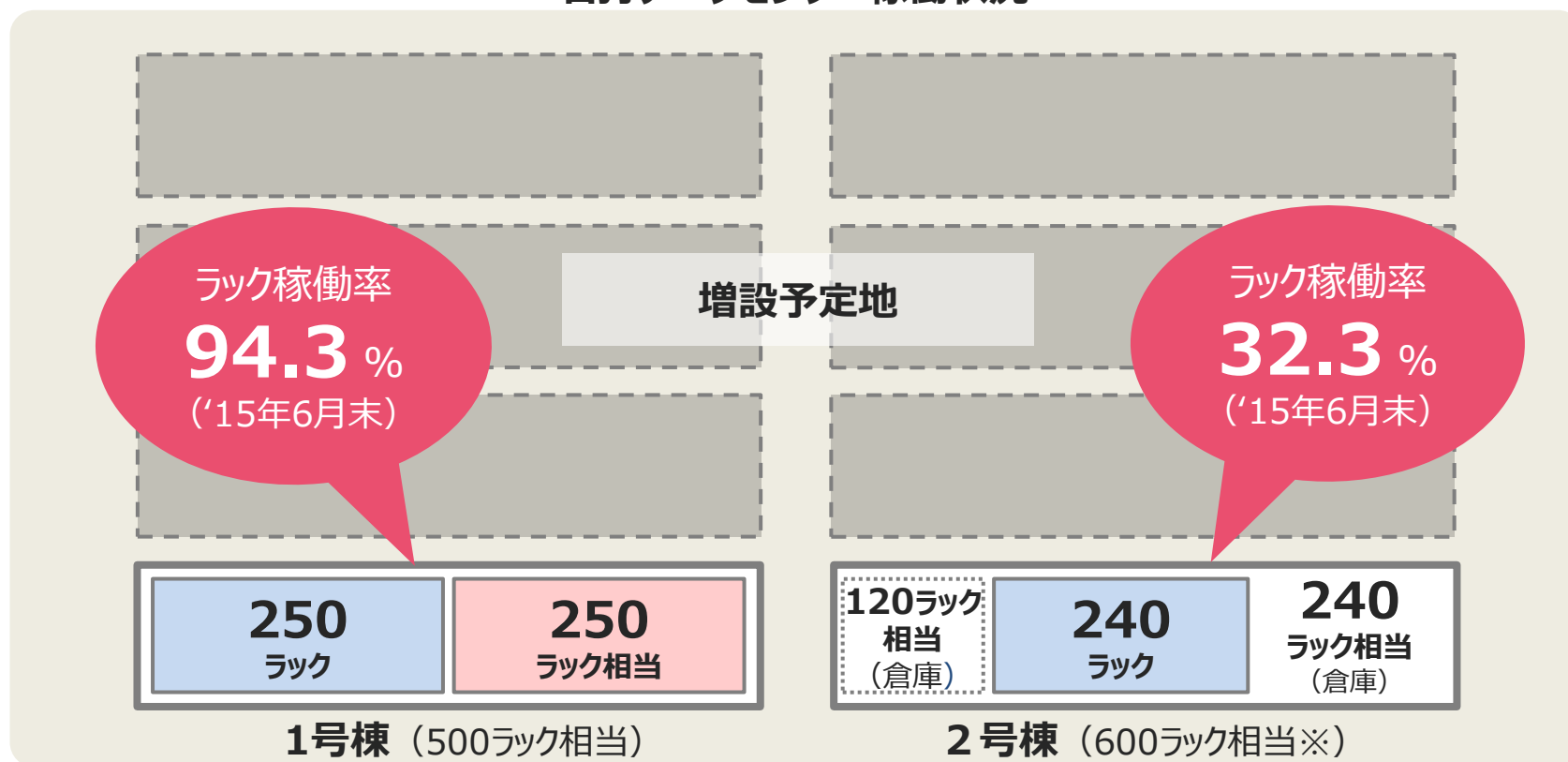


当社サービス別売上高構成比
('16/3期Q1 連結)



1号棟は、引き続き安定して高い稼働率を維持
2号棟は、新ゾーンが稼働開始

石狩データセンター稼働状況



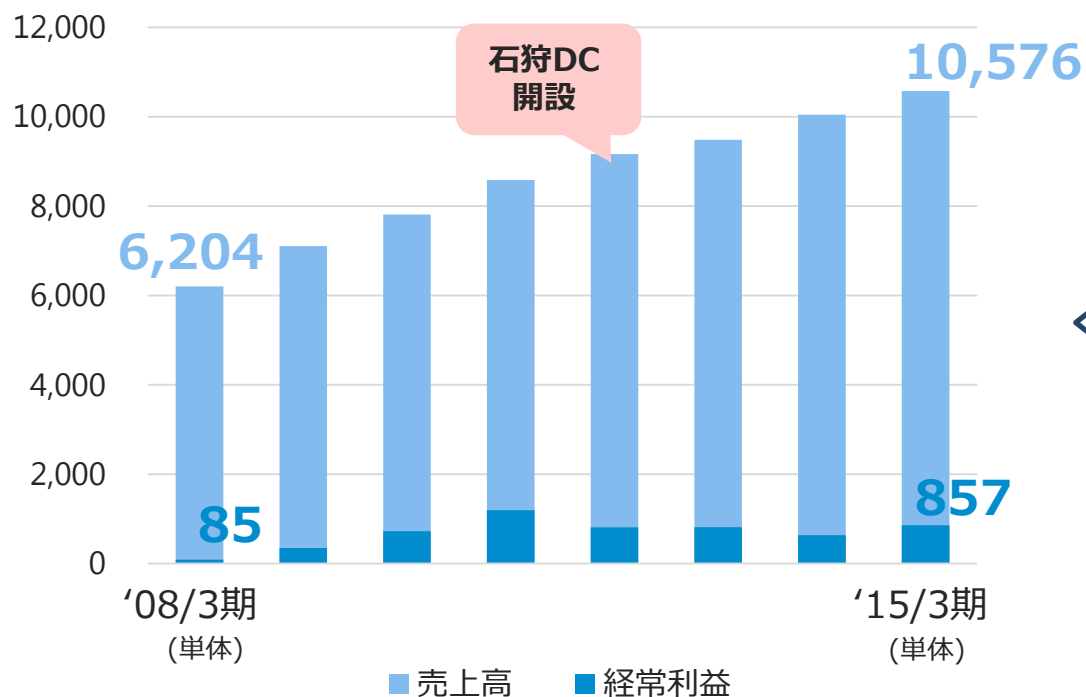
- ホスティング・リモートハウジングの提供スペース
- 大規模ハウジング案件の提供スペース

※収容効率を20%向上させ、2号棟は600ラック規模

市場機会の拡大とともに安定して売上を伸ばしてきた。 今期はさらに成長を加速させる

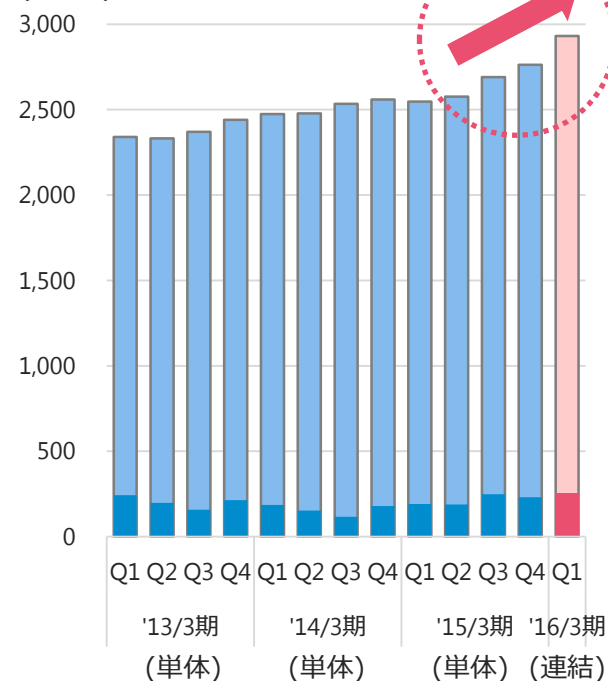
(単位：百万円)

業績推移

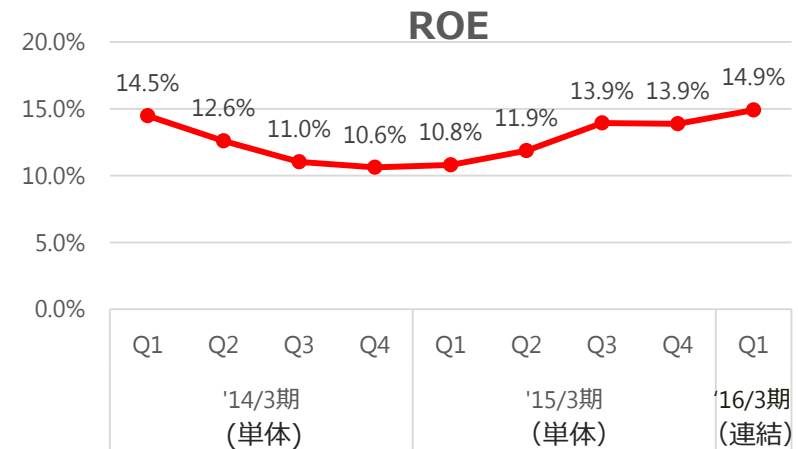
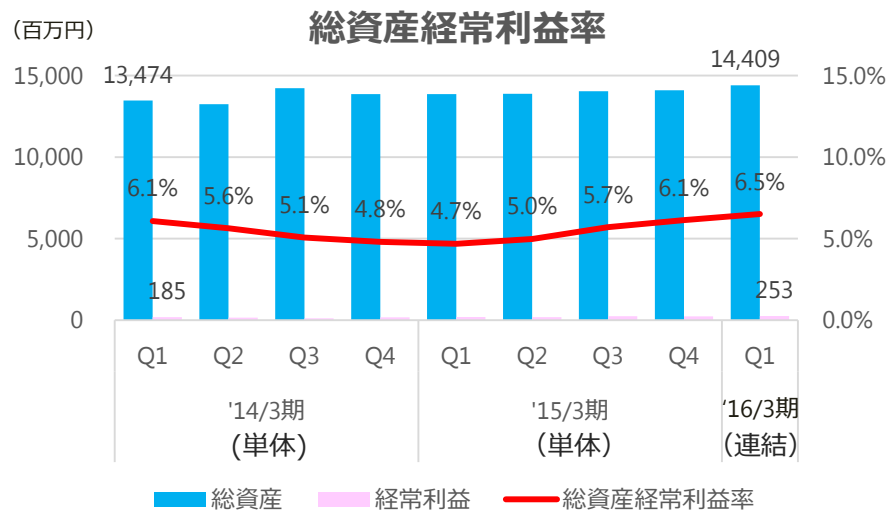
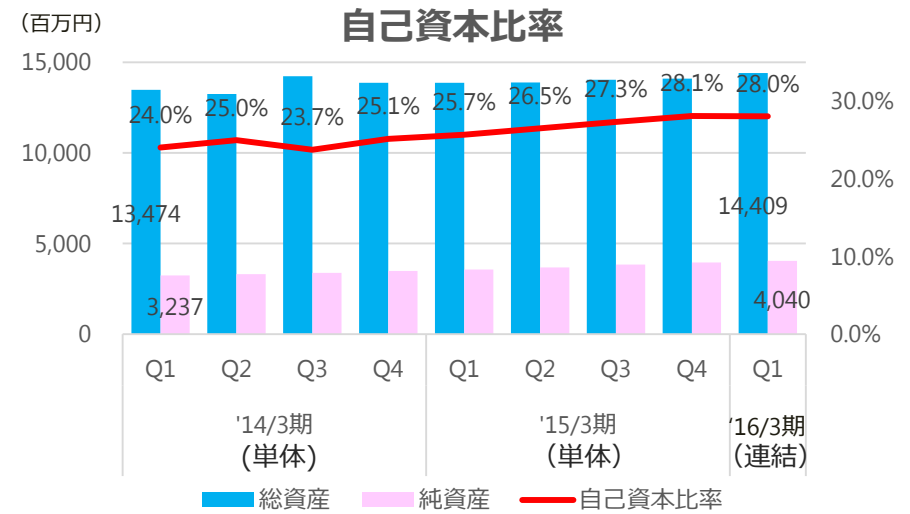
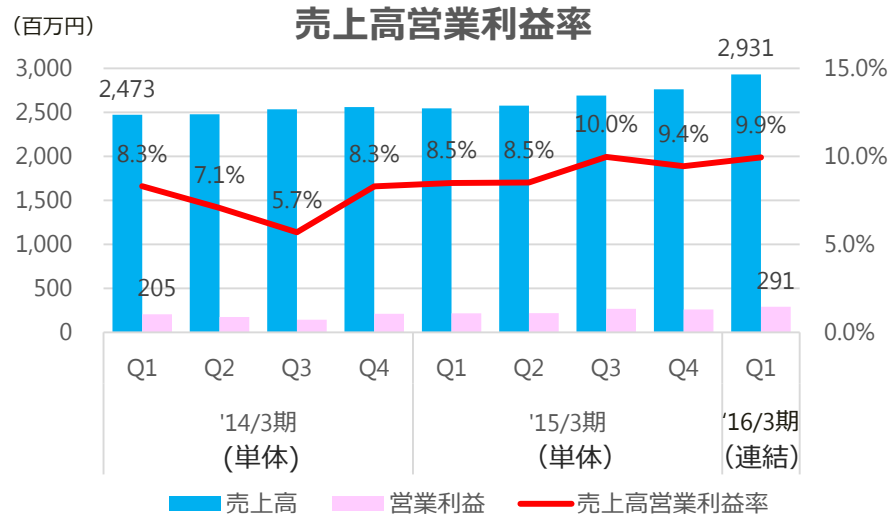


直近四半期推移

(百万円)



※ 2015年3月期以前は単体決算数値を、2016年3月期第1四半期より連結決算数値を記載しております。



※ 2015年3月期以前は単体決算数値を、2016年3月期第1四半期より連結決算数値を記載しております。
 総資産経常利益率、ROEの利益は直近4四半期の数値で算出しております。



■ IRに関するお問い合わせ先

さくらインターネット株式会社 東京支社
経理財務部 財務チーム IR窓口
Tel : 03-5332-7077
E-mail : ir@sakura.ad.jp

当資料に掲載されている業績予想などは、資料作成時点における弊社の判断に基づいており、その情報の正確性を保証するものではありません。さまざまな要因により、当資料記載の業績予想とは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。